

平成30年度 スポーツ振興関連事業の概要（スポーツ振興課関連）

1	○スポーツ王国北海道事業費				
事業内容					
スポーツ機会の向上 【特定財源：toto助成金】					
①スポーツチャレンジ教室 本道ゆかりのスポーツ選手等を講師に迎え、五輪種目や冬季種目を中心とした体験型教室の開催		予算額	H29実績		
		2,334	チャレンジ教室 8会場 365名		
②ペアレンツスクール ・子どもの親を対象とした講習会を開催 ・講習会用ハンドブックの作成		288	ペアレンツスクール 4会場 名		
③地域スポーツ支援事業 総合型クラブ育成の支援等のため、指導者養成事業などを実施 ・クラブマネジメント講習会の開催 ・全道スポーツ連携会議の開催 ・指導者派遣事業		1,080	総合型クラブ育成 札幌市 参加者延べ103名 ・スポーツネットワーク会議 札幌市 参加者57名 ・指導者派遣事業 8市町 延べ12名を派遣		
発掘・育成					
④有望選手発掘・育成事業 【特定財源：toto助成金】 小中学生から有望選手を発掘・育成しながら冬季ジュニア育成強化事業へ繋げる。(カーリング、スケルトン、バイアスロンの3競技で実施) ・セレクションの開催 ・育成プログラムの実施(地域育成プログラム、集合型育成プログラム、合同合宿)		10,000	・セレクションの実施59名 ・地域育成 週2回 ・集合型育成 月1回 ・合同合宿 45名		
⑤冬季スポーツジュニアアスリート強化事業 高校生を中心に選抜ジュニアアスリートの強化活動を実施 ・冬季スポーツセミナーの実施 ・冬季スポーツ競技別強化活動((公財)北海道体育協会補助)		12,175	・競技別強化活動 4競技で実施		
⑥北海道パラアスリート発掘プロジェクト 【特定財源：toto助成金】 ・病院や特別支援学校におけるスカウティング ・セレクションの開催 ・セミナーの開催		9,000			
整備					
⑦大型スポーツ用品設置事業 北海道立総合体育センターへの新体操マット設置		6,637	バスケットボール更新		
担当課	スポーツ振興課	30年度予算額	41,821千円	29年度予算額	44,555千円

2	○ラグビーワールドカップ2019地域交流等推進事業				
目的：ラグビーワールドカップ2019大会に向け、野幌ラグビー場を整備し公認キャンプ地選定を目指すとともに、機運醸成のため女子7人制ラグビーの国際交流大会を開催する。					
事業内容					
区分	内 容			H29実績	
野幌ラグビー場整備	○野幌ラグビー場の整備 ・芝の育成管理、排水管改修			-	
国際交流大会	○国内外の女子ラグビーチームによる国際交流大会の開催(2日間) [対象] 12チーム(国内8チーム、国外4チーム) [場所] 札幌市内			H29.9.6~10開催 参加：国内8チーム 国外4チーム	
担当課	スポーツ振興課	30年度予算額	37,000千円	29年度予算額	45,000千円

3	○スポーツコミッション推進事業費				
<p>目的：スポーツを通じた地域の活性化を促進するため、全道の各地域にスポーツコミッションを設立し、スポーツ大会や合宿誘致を全道に展開する。</p> <p>事業内容</p>					
区分		内 容			予算額
設 立 ・ 連 携 強 化		○地域の実情や課題を洗い出し、共有 ○道内スポーツ施設ストック調査 ○全国競技団体と調整し、スポーツ大会・合宿を誘致			3,469
ス ポ ー ツ プ ロ ボ ノ (仮 称) 委 員 委 嘱		○円滑な受入体制の構築や大会運営を支援するため、スポーツに精通した人材を活用し、各地域と競技団体等の調整を行う [構成] 全道14人			2,007
担当課	スポーツ振興課	30年度予算額	5,476 千円	29年度予算額	—

4	○障害者スポーツ振興費				
<p>目的：障がい者の体力維持や残存能力の向上を図り、スポーツ大会等を通じて道民の障がい者に対する理解を深めるため、大会の開催経費、全国大会への選手派遣経費等に対し助成を行う。</p> <p>事業内容 (単位：千円)</p>					
区分	事業名	概要等	予算額	H29実績	
大会開催事業	北海道障害者スポーツ大会	・大会規模：選手600名 ・競技数：7競技	9,850	開催地：苫小牧市他 参加選手：691名	
	北海道障害者冬季スポーツ大会	・大会規模：選手200名 ・競技数：2競技	1,557	開催地：枝幸町 参加選手：83名	
	はまなす全国車いすハーフマラソン大会	・大会規模：選手100名	14,000	開催地：札幌市 参加選手：94名	
大会派遣事業	全国障害者スポーツ大会	・大会規模：選手3,500名 ・競技数：15競技	12,090	開催地：愛媛県 派遣選手：49名	
障害者スポーツ	障害者スポーツ指導員養成講習	・地域において障がい者スポーツの普及、組織の育成、実技指導にあたる者の養成	396	受講者数：43名	
指導者養成事業	競技指導者研修事業	・障がい者スポーツの大会審判や補助協力を行う競技団体に対し競技規則、実技講習会を実施	4,516	受講者数：30名	
障害者スポーツ普及促進事業	知的障害者スポーツ教室	・スポーツに親しむ機会の少ない在宅の知的障がい者を対象にスポーツ教室を開催し、実技、ルール等を指導	361		
	身体障害者スポーツ教室	・スポーツに親しむ機会の少ない在宅の身体障がい者を対象にスポーツ教室を開催し、実技、ルール等を指導	293		
	精神障害者スポーツ教室	・スポーツに親しむ機会の少ない在宅の精神障がい者を対象にスポーツ教室を開催し、実技、ルール等を指導	368		
障害者スポーツ普及振興事業		・障がい者スポーツに関する調査・研究、地方障がい者スポーツの指導援助など障がい者スポーツの普及振興	586	障がい者スポーツの普及促進	
担当課	スポーツ振興課	30年度予算額	44,017 千円	29年度予算額	44,017 千円

5	○第74回国民体育大会冬期大会開催費補助金				
目的：平成31年1月から開催される第74回国民体育大会冬季大会の開催費に対する補助					
大会概要					
区分		内 容			
大会名		○第74回国民体育大会冬季大会（スキー、スケート、アイスホッケー競技会）			
主催		○（公財）日本スポーツ協会、文部科学省、北海道			
開催期間		平成31年2月14日～17日（4日間）：スキー競技会（札幌市） 平成31年1月30日～2月3日（5日間）：スケート・アイスホッケー競技会（釧路市）			
参加人数		○47都道府県選手、役員等約4,000人			
競技種目		○スキー競技会：4種目（ジャイアントスラローム、クロスカンтри、スペシャルジャンプ、コンパインド） ○スケート、アイスホッケー競技会：4種目（スピードスケート、フィギュアスケート、ショートトラック、アイスホッケー）			
担当課	スポーツ振興課	30年度予算額	186,249千円	29年度予算額	—

6	○日本スポーツマスターズ2018札幌大会開催費補助金				
目的：平成30年9月に札幌市で開催される日本スポーツマスターズ2018札幌大会に対する開催費補助					
大会概要					
区分		内 容			
大会名		○日本スポーツマスターズ2018札幌大会			
主催		○（公財）日本スポーツ協会、札幌市、（一財）札幌市体育協会、北海道、（公財）北海道体育協会			
開催期間		○平成30年9月14日～18日（5日間）			
開催地		○札幌市			
競技種目		○13競技（水泳、サッカー、テニスなど）			
参加人数		○約8,000人（選手、大会役員を含む）			
担当課	スポーツ振興課	30年度予算額	10,000千円	29年度予算額	—

7	○2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会成聖火リレー関連事業				
目的：2020年に全都道府県で実施される東京オリパラ聖火リレーの成功へ向け、北海道聖火リレー実行委員会を設置し、ルート選定やランナー公募、沿道整備等について検討・実施するとともに、オリンピックムーブメントを推進する。					
事業内容					
区分		内 容			
実行委員会等運営		○北海道聖火リレー実行委員会 ・ルート選定、ランナー募集・選定、沿道整備・警備 ○全国知事会聖火リレー準備会議 ・各都道府県間の情報共有、各種調整 ○関係自治体等連絡会議 ・聖火リレー運営準備			
ルート選定業務		○ルート選定現地調査等委託			
担当課	スポーツ振興課	30年度予算額	10,000千円	29年度予算額	—

8	○北海道スポーツ表彰								
<p>目的：スポーツの振興に寄与したものと及びスポーツの優秀な成績を収めた者を「北海道スポーツ賞」として顕彰することにより、スポーツを行うものに名誉を付与しその成績をたたえ、道民のスポーツに対する関心と熱意を喚起・高揚し、もって北海道のスポーツの振興を図る。</p>									
過去の受賞者数									
区 分		H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9
スポーツの振興に寄与した者		4	4	3	3	2	4	4	5
スポーツの優秀な成績を収めた者（個人）		10	20	6	4	24	6	4	15
スポーツの優秀な成績を収めた者（団体）		2	2	6	2	3	1	2	—
合 計		16	26	15	9	29	11	11	20
特別表彰		2	—	—	—	—	—	—	—
スポーツ奨励賞（H20新設）		4	1	2	4	2	1	7	4
担当課	スポーツ振興課	30年度予算額	305千円	29年度予算額	305千円				

9	○北海道マラソン・ソウル国際マラソン交流事業費				
<p>目的：H22.10月に北海道とソウル特別市が友好交流協定を締結したことを契機として、スポーツ分野の観点からソウル国際マラソンと北海道マラソンとの交流を図り、両地域の友好親善を深める。</p>					
1 事業概要					
○両地域における最大規模のマラソン大会のランナーの交流を図り、それぞれの大会をPRすることにより、一般市民ランナーの交流拡大をめざし、両地域の友好交流の促進とスポーツ振興を図る。					
2 事業内容					
(北海道) 選手受け入れ（ソウル国際マラソン出場者2名程度招待）					
ソウル国際マラソン大会へ北海道知事賞等を出賞					
(ソウル) 選手受け入れ					
ソウル特別市長賞出賞					
担当課	スポーツ振興課	30年度予算額	509千円	29年度予算額	481千円

10	○スポーツ競技力向上推進費補助金				
<p>概要：（公財）北海道体育協会が実施する選手強化事業等に要する経費に対する補助 [補助金交付先：（公財）北海道体育協会]</p>					
《事業内容》					
事業名		事業内容	実施規模	予算額	H 2 9実績
指定強化指導者研修会		・実技を中心とした系統的指導法 ・技術の習得	H 3 0 5 0種目 1 3 0人	1,666	参加指導者81人 札幌市
選手強化事業	ジュニア 道内合宿	・1年を通じて実施される道内の合宿	5 0種目 1,150人	57,502	42種目 延べ152回 選手3,069人
	強化合宿 道外合宿	・実践力を養うため、対抗試合を取入れた合宿	4 4種目 3 3 0人		25種目 延べ53回 選手803人
	有望選手活動支援	・経済的に競技活動を継続することが困難な高校生を支援	対象10人 1人あたり 20万円		対象3人
競技団体育成事業		・競技力向上推進委員会		125	3回
スポーツ医・科学トータルサポート事業		・合宿地・国体会場等での医学的指導及びサポート ・スポーツ科学委員会運営（調査研究）	3種目 (陸上、柔道、バドミントン)	5,738	11種目 サポータースタッフ等11人
合 計				65,031	
担当課	スポーツ振興課	30年度予算額	65,031千円	29年度予算額	65,031千円

11	○スポーツ団体活動費補助金																								
<p>目的：本道スポーツの振興と指導者の養成を図るため、(公財)北海道体育協会が行う事業に補助する。 [補助金交付先：(公財)北海道体育協会]</p> <p>事業内容 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>内 容</th> <th>予算額</th> <th>H29実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国民体育大会運営事業</td> <td>①国体予選会事業の一部補助 40団体 ②人件費</td> <td>671</td> <td>北海道予選会 39競技団体</td> </tr> <tr> <td>競技団体育成事業</td> <td>①競技団体運営活動費助成 11団体 ②人件費</td> <td>455</td> <td>助成10団体</td> </tr> <tr> <td>スポーツ指導員養成事業</td> <td>①スポーツ指導者ブロック研究会 4会場 ②人件費</td> <td>2,569</td> <td>道内4会場 参加者305人</td> </tr> <tr> <td>スポーツ少年団育成事業</td> <td>①スポーツ少年団大会 1会場 ②スポーツ少年団・シニアリーダー研修会 1会場 ③人件費</td> <td>500</td> <td>参加者90人</td> </tr> </tbody> </table>						事業名	内 容	予算額	H29実績	国民体育大会運営事業	①国体予選会事業の一部補助 40団体 ②人件費	671	北海道予選会 39競技団体	競技団体育成事業	①競技団体運営活動費助成 11団体 ②人件費	455	助成10団体	スポーツ指導員養成事業	①スポーツ指導者ブロック研究会 4会場 ②人件費	2,569	道内4会場 参加者305人	スポーツ少年団育成事業	①スポーツ少年団大会 1会場 ②スポーツ少年団・シニアリーダー研修会 1会場 ③人件費	500	参加者90人
事業名	内 容	予算額	H29実績																						
国民体育大会運営事業	①国体予選会事業の一部補助 40団体 ②人件費	671	北海道予選会 39競技団体																						
競技団体育成事業	①競技団体運営活動費助成 11団体 ②人件費	455	助成10団体																						
スポーツ指導員養成事業	①スポーツ指導者ブロック研究会 4会場 ②人件費	2,569	道内4会場 参加者305人																						
スポーツ少年団育成事業	①スポーツ少年団大会 1会場 ②スポーツ少年団・シニアリーダー研修会 1会場 ③人件費	500	参加者90人																						
担当課	スポーツ振興課	30年度予算額	4,195千円	29年度予算額	4,389千円																				

12	○国民体育大会派遣費																																	
<p>目的：(公財)北海道体育協会が行う国民体育大会への北海道選手団派遣事業費に対する補助金 [補助金交付先：(公財)北海道体育協会]</p> <p>補助内容：北海道選手団の国体出場に最低限必要な実費経費(交通費・宿泊費・用具輸送費)を、(公財)北海道体育協会が行う派遣事業への補助金として助成する。</p> <p>事業概要 30年度派遣者数 1,094人(役員12名、選手・監督1,082人) (29年度派遣者数実績(1,044人(役員29人、選手・監督1,015人))</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="2">第73回大会</th> <th colspan="2">第74回大会</th> </tr> <tr> <th>本大会</th> <th>冬季大会(スケート・アイスホッケー)</th> <th>冬季大会(スキー)</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催地(主会場)</td> <td>福井県</td> <td>釧路市</td> <td>札幌市</td> <td></td> </tr> <tr> <td>開催期間</td> <td>H30.9.29~10.9(11日間)*</td> <td>H31.1.30~2.3(5日間)</td> <td>H31.2.14~2.17(4日間)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実施競技数</td> <td>37公式競技・4公開競技</td> <td>2公式競技</td> <td>1公式競技</td> <td></td> </tr> <tr> <td>派遣人員</td> <td>864人</td> <td>100人</td> <td>8人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>* ブロック大会及び予選会25人</p>						区 分	第73回大会		第74回大会		本大会	冬季大会(スケート・アイスホッケー)	冬季大会(スキー)		開催地(主会場)	福井県	釧路市	札幌市		開催期間	H30.9.29~10.9(11日間)*	H31.1.30~2.3(5日間)	H31.2.14~2.17(4日間)		実施競技数	37公式競技・4公開競技	2公式競技	1公式競技		派遣人員	864人	100人	8人	
区 分	第73回大会		第74回大会																															
	本大会	冬季大会(スケート・アイスホッケー)	冬季大会(スキー)																															
開催地(主会場)	福井県	釧路市	札幌市																															
開催期間	H30.9.29~10.9(11日間)*	H31.1.30~2.3(5日間)	H31.2.14~2.17(4日間)																															
実施競技数	37公式競技・4公開競技	2公式競技	1公式競技																															
派遣人員	864人	100人	8人																															
担当課	スポーツ振興課	30年度予算額	97,110千円	29年度予算額	116,091千円																													

13	○札幌ドーム整備費補助金				
<p>目的：札幌市が建設した全天候型多目的施設(札幌ドーム)は、道民の生活文化の向上に資する施設であることから、建設費の一部に対し助成する。 [補助金交付先：札幌市]</p> <p>事業内容：助成総額 100億円を限度 建設時(H10~12)各4億円 償還時(H13~43)各年度 負担額の範囲内</p>					
担当課	スポーツ振興課	30年度予算額	138,000千円	29年度予算額	138,000千円

14	○広域拠点スポーツ施設整備費補助金				
<p>目的：本道のスポーツの振興を図るため、広域拠点スポーツ施設として、釧路市が建設した湿原の風アリーナ及び帯広市が建設した屋内スピードスケート場に対し補助する。 [補助金交付先：釧路市、帯広市]</p> <p>事業内容：起債償還に対する補助 釧路市 (H21~H35) 帯広市 (H22~H41)</p>					
担当課	スポーツ振興課	30年度予算額	78,637千円	29年度予算額	78,969千円

15	○北海道立総合体育センター管理運営費				
目的：道立総合体育センターの効率的運営を図るため、指定管理業務を指定管理者へ委託する。 [委託先：(公財)北海道体育協会]					
施設概要等					
施設名称		北海道立総合体育センター(開館：平成12年2月13日)			
所在地		札幌市豊平区豊平5条1丁目1-1			
主な施設		メインアリーナ、サブアリーナ、弓道場、柔道室、剣道室、講堂・視聴覚室、トレーニング室			
指定管理者		(公財)北海道体育協会			
指定期間		平成30年4月1日～平成34年3月31日(4年間)			
担当課	スポーツ振興課	30年度予算額	313,898千円	29年度予算額	328,128千円

16	○北海道立北見体育センター管理運営費				
目的：道立北見体育センターの効率的運営を図るため、指定管理業務を指定管理者へ委託する。 [委託先：(公財)北見市体育協会]					
施設概要等					
施設名称		北海道立北見体育センター(開館：昭和57年6月6日)			
所在地		北見市東陵町27 東陵運動公園内			
主な施設		アリーナ、ランニングコース、講堂、研修室、トレーニング室、図書資料室			
指定管理者		(公財)北見市体育協会			
指定期間		平成30年4月1日～平成34年3月31日(4年間)			
担当課	スポーツ振興課	30年度予算額	59,803千円	29年度予算額	56,920千円

17	○北見体育センター費(施設建設事業費)				
目的：道立北見体育センターの適切な維持保全を図るため、設備の老朽箇所について、必要改修等を行う。					
工事スケジュール					
		H28	H29	H30	H31
暖房衛生設備改修工事		実施設計	改修工事	改修工事	改修工事
電気設備改修工事		—	—	実施設計	改修工事
外壁改修工事		—	—	実施設計、改修工事	改修工事
担当課	スポーツ振興課	30年度予算額	227,630千円	29年度予算額	128,812千円

18	○総合体育センター費(施設建設事業費)				
目的：道立総合体育センターの長期保全化を図るため、主要施設(メインアリーナ床、サブアリーナ床)を改修する。					
工事スケジュール					
H30		実施設計			
H31～32		改修工事			
担当課	スポーツ振興課	30年度予算額	9,688千円	29年度予算額	221,991千円

31	○障がい者スポーツ推進事業費	(2定補正)																											
<p>目的：国が実施する補助事業「Specialプロジェクト2020」「障害者スポーツ推進プロジェクト」を受託し、障がい者が「ほんもの」のスポーツ・芸術に触れる機会の創出や、障がい者スポーツの環境整備等を図る。</p> <p>事業内容</p> <p>(1) Specialプロジェクト2020</p> <p>○道内の特別支援学校で、スポーツ・文化・教育活動の祭典を開催し、「ほんもの」のスポーツ・芸術に触れる機会を創出することにより、地域の共生社会の拠点づくりを図る。(単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内 容</th> <th>所要額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実行委員会</td> <td>○事業計画の検討及び実践校の選定(年2回) [構成] 道、道体協、道障がい者スポーツ協会、道文化財団、プロスポーツチーム等</td> <td>212</td> </tr> <tr> <td>企画会議</td> <td>○事業内容の検討、進捗状況の確認、情報交換 [構成] 実行委員会メンバーより選出及び実践校教員</td> <td>402</td> </tr> <tr> <td>モデル事業</td> <td>○本道出身オリンピック・パラリンピアンによる講演会及びスポーツ教室など ○本道出身ミュージシャンや演奏家による音楽教室等 [対象] 実践校(3校) [実施地域] 道東、道南、オホーツク</td> <td>2,786</td> </tr> <tr> <td>運営費</td> <td>○コーディネーターの配置(1名分)及び事務費</td> <td>1,600</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 障害者スポーツ推進プロジェクト</p> <p>○障がい者の継続的なスポーツ実施促進に向けて、身近な場所でスポーツを実施できる環境整備を図る。(単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内 容</th> <th>所要額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実行委員会</td> <td>○事業計画の検討及び実践地域・スポーツクラブの選定(年2回) [構成] 道、道体協、道障がい者スポーツ協会、道文化財団、プロスポーツチーム等</td> <td>720</td> </tr> <tr> <td>パラスポーツ運動会</td> <td>○パラスポーツの他種目体験イベント(運動会)の実施(年1回) [実施地域] 1地域(実行委で選定) [内 容] 車いすバスケット、ボッチャなどを障がい者と健常者が一緒にプレー</td> <td>1,182</td> </tr> <tr> <td>パラスポーツ倶楽部</td> <td>○障がい者参加型イベント等の実施(月1回×3ヶ月) [実施地域] 1地域(総合型地域スポーツクラブ) [内 容] 障がい者と健常者が一緒に行うフィットネスなど</td> <td>1,498</td> </tr> </tbody> </table>			区分	内 容	所要額	実行委員会	○事業計画の検討及び実践校の選定(年2回) [構成] 道、道体協、道障がい者スポーツ協会、道文化財団、プロスポーツチーム等	212	企画会議	○事業内容の検討、進捗状況の確認、情報交換 [構成] 実行委員会メンバーより選出及び実践校教員	402	モデル事業	○本道出身オリンピック・パラリンピアンによる講演会及びスポーツ教室など ○本道出身ミュージシャンや演奏家による音楽教室等 [対象] 実践校(3校) [実施地域] 道東、道南、オホーツク	2,786	運営費	○コーディネーターの配置(1名分)及び事務費	1,600	区分	内 容	所要額	実行委員会	○事業計画の検討及び実践地域・スポーツクラブの選定(年2回) [構成] 道、道体協、道障がい者スポーツ協会、道文化財団、プロスポーツチーム等	720	パラスポーツ運動会	○パラスポーツの他種目体験イベント(運動会)の実施(年1回) [実施地域] 1地域(実行委で選定) [内 容] 車いすバスケット、ボッチャなどを障がい者と健常者が一緒にプレー	1,182	パラスポーツ倶楽部	○障がい者参加型イベント等の実施(月1回×3ヶ月) [実施地域] 1地域(総合型地域スポーツクラブ) [内 容] 障がい者と健常者が一緒に行うフィットネスなど	1,498
区分	内 容	所要額																											
実行委員会	○事業計画の検討及び実践校の選定(年2回) [構成] 道、道体協、道障がい者スポーツ協会、道文化財団、プロスポーツチーム等	212																											
企画会議	○事業内容の検討、進捗状況の確認、情報交換 [構成] 実行委員会メンバーより選出及び実践校教員	402																											
モデル事業	○本道出身オリンピック・パラリンピアンによる講演会及びスポーツ教室など ○本道出身ミュージシャンや演奏家による音楽教室等 [対象] 実践校(3校) [実施地域] 道東、道南、オホーツク	2,786																											
運営費	○コーディネーターの配置(1名分)及び事務費	1,600																											
区分	内 容	所要額																											
実行委員会	○事業計画の検討及び実践地域・スポーツクラブの選定(年2回) [構成] 道、道体協、道障がい者スポーツ協会、道文化財団、プロスポーツチーム等	720																											
パラスポーツ運動会	○パラスポーツの他種目体験イベント(運動会)の実施(年1回) [実施地域] 1地域(実行委で選定) [内 容] 車いすバスケット、ボッチャなどを障がい者と健常者が一緒にプレー	1,182																											
パラスポーツ倶楽部	○障がい者参加型イベント等の実施(月1回×3ヶ月) [実施地域] 1地域(総合型地域スポーツクラブ) [内 容] 障がい者と健常者が一緒に行うフィットネスなど	1,498																											
担当課	スポーツ振興課	30年度予算額	8,4000千円	29年度予算額	5,000千円																								

32	○地域タレント発掘・育成コンソーシアム事業費	(2定補正)															
<p>目的：(独)日本スポーツ振興センター(JSC)が実施する「地域タレント発掘・育成コンソーシアム事業」を受託し、競技者育成に関わる関係団体間の連携による発掘・育成プログラムの開発などの取組を通じて、本道の競技力向上を図る。</p> <p>事業内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内 容</th> <th>所要額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンソーシアム実行委員会</td> <td>○事業実施における全体事業計画の作成及び取組方針の検討(年2回) [構成] 道、宮城県、長野県、名寄市、冬季競技団体、大学、病院、学識経験者</td> <td>1,351</td> </tr> <tr> <td>医科学スポーツ体制の構築</td> <td>○地域の総合病院・大学と連携したメディカルキャンプの開催(年1回(4日間)) [内容] メディカルチェック・体力測定、抗議、フィジカルトレーニング [実施地域] 名寄市</td> <td>5,508</td> </tr> <tr> <td>育成プログラム</td> <td>○冬季アスリート育成アカデミーの開設(各競技年1回(各7日間)) [対象] 中高生60名 [内容] 海外コーチによるトレーニング指導 アカデミー期間中の競技会(記録会)の開催 地域の綿くて指導者の養成事業を実施(10人)</td> <td>14,033</td> </tr> <tr> <td>コンソーシアム運営費</td> <td>○事業全体を統括・調整するコーディネーター等の配置(2名) ○コンソーシアム運営に係る事務費</td> <td>9,108</td> </tr> </tbody> </table>			区分	内 容	所要額	コンソーシアム実行委員会	○事業実施における全体事業計画の作成及び取組方針の検討(年2回) [構成] 道、宮城県、長野県、名寄市、冬季競技団体、大学、病院、学識経験者	1,351	医科学スポーツ体制の構築	○地域の総合病院・大学と連携したメディカルキャンプの開催(年1回(4日間)) [内容] メディカルチェック・体力測定、抗議、フィジカルトレーニング [実施地域] 名寄市	5,508	育成プログラム	○冬季アスリート育成アカデミーの開設(各競技年1回(各7日間)) [対象] 中高生60名 [内容] 海外コーチによるトレーニング指導 アカデミー期間中の競技会(記録会)の開催 地域の綿くて指導者の養成事業を実施(10人)	14,033	コンソーシアム運営費	○事業全体を統括・調整するコーディネーター等の配置(2名) ○コンソーシアム運営に係る事務費	9,108
区分	内 容	所要額															
コンソーシアム実行委員会	○事業実施における全体事業計画の作成及び取組方針の検討(年2回) [構成] 道、宮城県、長野県、名寄市、冬季競技団体、大学、病院、学識経験者	1,351															
医科学スポーツ体制の構築	○地域の総合病院・大学と連携したメディカルキャンプの開催(年1回(4日間)) [内容] メディカルチェック・体力測定、抗議、フィジカルトレーニング [実施地域] 名寄市	5,508															
育成プログラム	○冬季アスリート育成アカデミーの開設(各競技年1回(各7日間)) [対象] 中高生60名 [内容] 海外コーチによるトレーニング指導 アカデミー期間中の競技会(記録会)の開催 地域の綿くて指導者の養成事業を実施(10人)	14,033															
コンソーシアム運営費	○事業全体を統括・調整するコーディネーター等の配置(2名) ○コンソーシアム運営に係る事務費	9,108															
担当課	スポーツ振興課	30年度予算額	30,000千円	29年度予算額	30,000千円												

33	○2018/19ISUワールドカップスピードスケート競技会・帯広大会開催費補助金	(3定補正)														
<p>目的：本年11月に帯広市で開催される2018/19ISUワールドカップスピードスケート競技会に対する開催費補助</p> <p>大会概要</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大会名</td> <td>○2018/19ISUワールドカップスピードスケート競技会・帯広大会</td> </tr> <tr> <td>主催</td> <td>○国際スケート連盟(ISU)</td> </tr> <tr> <td>開催期間</td> <td>○平成30年11月16日～18日(3日間)</td> </tr> <tr> <td>場 所</td> <td>○帯広の森屋内スピードスケート場(明治北海道十勝オーバル)</td> </tr> <tr> <td>競技種目</td> <td>○500m、1,000m、1,500m、3,000m(女子)、5,000m(男子)、チームシュート、マススタート、チームスプリント</td> </tr> <tr> <td>参加国・人数</td> <td>○28国・340名程度(選手・スタッフ・コーチ)</td> </tr> </tbody> </table>			区分	内 容	大会名	○2018/19ISUワールドカップスピードスケート競技会・帯広大会	主催	○国際スケート連盟(ISU)	開催期間	○平成30年11月16日～18日(3日間)	場 所	○帯広の森屋内スピードスケート場(明治北海道十勝オーバル)	競技種目	○500m、1,000m、1,500m、3,000m(女子)、5,000m(男子)、チームシュート、マススタート、チームスプリント	参加国・人数	○28国・340名程度(選手・スタッフ・コーチ)
区分	内 容															
大会名	○2018/19ISUワールドカップスピードスケート競技会・帯広大会															
主催	○国際スケート連盟(ISU)															
開催期間	○平成30年11月16日～18日(3日間)															
場 所	○帯広の森屋内スピードスケート場(明治北海道十勝オーバル)															
競技種目	○500m、1,000m、1,500m、3,000m(女子)、5,000m(男子)、チームシュート、マススタート、チームスプリント															
参加国・人数	○28国・340名程度(選手・スタッフ・コーチ)															
担当課	スポーツ振興課	30年度予算額	10,000千円	29年度予算額	—											

平成30年度 スポーツ振興関連事業の概要（総合政策部関連）

19	○北海道未来人材応援事業									
<p>目的： 本当の将来を担う人材の育成を図るため、若者の海外留学や、スポーツ指導者、芸術家、職人を目指して海外で資質向上に取り組む挑戦を、「ほっかいどう未来チャレンジ基金」等により支援します。</p> <p>事業の概要 [スポーツコースの概要] ※他に学生留学、文化芸術、未来の匠の3コースがあります。</p> <p>1 主な支援対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢 北海道在住の18歳から39歳の方 ・対象 3～12ヶ月の海外研修 ・人数 若干名 <p>2 主な支援内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <tr> <td style="width: 30%;">滞在費（定額）</td> <td style="width: 30%;">12万円/月又は16万円/月 (派遣先地域により変動)</td> </tr> <tr> <td>往復渡航費（定額）</td> <td>10万円又は20万円 (派遣先地域により変動)</td> </tr> <tr> <td>授業料、研修費、入学金等</td> <td>上限30万円</td> </tr> </table> <p>3 その他 平成30年度の募集は終了しました。 平成31年度以降の募集要項等詳細は、平成31年3月頃、道ホームページに掲載予定です。</p>					滞在費（定額）	12万円/月又は16万円/月 (派遣先地域により変動)	往復渡航費（定額）	10万円又は20万円 (派遣先地域により変動)	授業料、研修費、入学金等	上限30万円
滞在費（定額）	12万円/月又は16万円/月 (派遣先地域により変動)									
往復渡航費（定額）	10万円又は20万円 (派遣先地域により変動)									
授業料、研修費、入学金等	上限30万円									
担当課	総合教育推進室	30年度予算額	9,000 千円	※スポーツコースのほか、文化芸術コース、未来の匠コースを含む額です。						

20	○北海道・ロシア連邦地域間協力キックオフ事業																															
<p>1. サハリン州・黒竜江省と3地域交流展開（2,411千円）</p> <p>目的： 北海道、中国黒竜江省、ロシアサハリン州との三地域交流の具体的な事業展開（スポーツ分野）として、既に北海道とサハリン州で民間レベルで交流のあるミニバレーをテーマに北海道とサハリン州が連携して、黒竜江省に伝えることで交流を深めるもの。</p> <p>事業内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 10%;">区分</th> <th style="width: 40%;">内容</th> <th style="width: 15%;">時期</th> <th style="width: 25%;">場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">サハリン州・黒竜江省と3地域交流展開</td> <td>派遣</td> <td>ミニバレー講習会・交流事業（指導者等派遣）</td> <td>未定</td> <td>ハルビン</td> </tr> <tr> <td>受入</td> <td>ミニバレー選手団招聘・交流事業</td> <td>(11月)</td> <td>道内</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 青少年（スポーツ）交流（19,583千円）</p> <p>目的： 平成28年12月の日露首脳会談、サハリン州知事との会談等の結果を踏まえ、ロシア極東地域及び欧露部等との交流に取り組むことにより、日露の幅広い関係強化につなげる。</p> <p>事業内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 10%;">区分</th> <th style="width: 40%;">内容</th> <th style="width: 15%;">時期</th> <th style="width: 25%;">場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">青少年（スポーツ）交流</td> <td>派遣</td> <td>冬季国際スポーツ競技大会「アジアの子どもたち」への選手団の派遣</td> <td>2月</td> <td>サハリン</td> </tr> <tr> <td>受入</td> <td>サハリン州からのスポーツ訪問団の受入</td> <td>(10月)</td> <td>士別町等</td> </tr> </tbody> </table>						区分	内容	時期	場所	サハリン州・黒竜江省と3地域交流展開	派遣	ミニバレー講習会・交流事業（指導者等派遣）	未定	ハルビン	受入	ミニバレー選手団招聘・交流事業	(11月)	道内		区分	内容	時期	場所	青少年（スポーツ）交流	派遣	冬季国際スポーツ競技大会「アジアの子どもたち」への選手団の派遣	2月	サハリン	受入	サハリン州からのスポーツ訪問団の受入	(10月)	士別町等
	区分	内容	時期	場所																												
サハリン州・黒竜江省と3地域交流展開	派遣	ミニバレー講習会・交流事業（指導者等派遣）	未定	ハルビン																												
	受入	ミニバレー選手団招聘・交流事業	(11月)	道内																												
	区分	内容	時期	場所																												
青少年（スポーツ）交流	派遣	冬季国際スポーツ競技大会「アジアの子どもたち」への選手団の派遣	2月	サハリン																												
	受入	サハリン州からのスポーツ訪問団の受入	(10月)	士別町等																												
担当課	国際課	30年度予算額	21,994千円																													

21	○地域づくり総合交付金（地域づくり推進事業）				
<p>目的：地域の創意と主体性に基づく地域の特性や優位性を生かした取組の促進を図るため、市町村等が地域課題の解決や地域活性化を目的に取り組む各種事業に対して支援する。</p> <p>事業内容</p>					
(1) ハード系事業					
交付対象事業		・スポーツ振興事業 (屋内スポーツ施設整備事業、屋外スポーツ施設整備事業、総合体育館整備事業) など*			
交付対象者		交付対象者		上限額	下限額
交付限度額		<ul style="list-style-type: none"> ・市町村 ・一部事務組合、広域連合 		1億円 2億円	500万円
(2) ソフト系事業					
交付対象事業		・スポーツ振興事業(スポーツ振興事業) など*			
交付対象者		交付対象者		上限額	下限額
交付限度額		<ul style="list-style-type: none"> ・市町村 ・一部事務組合、広域連合、複数市町村で構成する協議会等 ・総合振興局長・振興局長が適当と認める者 		500万円 1,000万円 300万円	50万円 10万円
※交付対象事業について、振興局においてメニューを設定					
担当課	地域振興局 地域政策課	30年度予算額	4,300,000千円 (地域づくり推進事業分)	29年度予算額	4,200,000千円 (地域づくり推進事業分)

平成30年度 スポーツ振興関連事業の概要（環境生活部関連）

22	○民族共生象徴空間誘客促進・地域連携事業費				
目的：2020東京オリパラ大会にあわせた民族共生象徴空間の一般公開に向け、道内外の機運醸成を図るとともに、インバウンドなど国内外からの誘客促進を図る。					
事業内容					（単位：千円）
目 標	区 分	内 容			
機運醸成	—	アンバサダー委嘱	・各種イベント・広告媒体への出演		
		カウントダウンイベント	・開業500日前イベント(H30.12.1) [札幌・室蘭・白老同時開催]		
		アイヌ文化発信プログラム	・東京オリパラ開会式等での披露に向けた取組み		
		アイヌ文化情報発信強化	・アイヌ文化研究成果や知識の普及		
修学旅行者	延べ7万人	日本縦断PRキャラバン	・道内外での象徴空間PRイベントの実施 [場所：札幌、帯広、新ひだか、仙台、福岡、沖縄]		
国内旅行者	延べ35～50万人	観光団体連携強化	・象徴空間地域と他地域の観光客の相互誘引		
訪日外国人旅行者	延べ40～60万人	海外への情報発信	・海外7カ国・地域における北海道の食・観光・アイヌ文化・象徴空間のPR [場所：北米、ハワイ、中国、台湾、ASEAN、ニュージーランド、フィンランド]		
合 計	延べ100万人				
担当課	アイヌ政策課	30年度予算額	430,580千円	29年度予算額	— 千円

平成30年度 スポーツ振興関連事業の概要（保健福祉部関連）

23	○明るい長寿社会づくり推進事業費				
<p>目的：介護予防の観点から、高齢者の各種活動の推進組織づくり、社会参加活動の振興のための指導者等養成、仲間づくり支援、老人週間事業を総合的に実施する。</p> <p>事業内容 （単位：千円）</p>					
項 目		内 容		H29実績	
高齢者の社会活動についての啓発及び普及啓発事業費		情報誌		1,750部	
高齢者のスポーツ・健康づくり地域活動等推進組織づくり事業費		全道高齢者スポーツ等大会の開催、全国健康福祉祭への選手派遣等		12種目に助成 全国へは124名派遣	
高齢者の社会活動の振興のための指導者育成事業費		高齢指導者（シニアリーダー）の育成		84名の指導者登録	
仲間づくり支援事業費		生きがいネットワークづくりの支援		1圏域で17回、講演会、自主事業の支援を実施	
老人週間事業費		全道高齢者作品展の開催、老人週間啓発事業		作品展の実施	
担当課	高齢者保健福祉課	30年度予算額	40,020千円	29年度予算額	40,180千円

平成30年度 スポーツ振興関連事業の概要（経済部関連）

24	○北海道アウトドア活動振興環境整備事業費														
<p>【目的・概要】 アウトドア活動の振興を図るため、北海道アウトドア資格制度の運営や、アウトドアガイド・事業者のほか、地域に根ざした人材の育成など、アウトドア活動を支える基盤づくりを推進する。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ アウトドアガイド資格等の認定登録・管理 <ul style="list-style-type: none"> ・ 資格認定証書等の作成・交付 ・ 試験実施状況等の確認 ○ 資格制度の運営管理 <ul style="list-style-type: none"> ・ 資格制度推進委員会の開催 ○ 資格制度の普及PR <p>【平成29年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資格認定等 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th style="width: 80%;">区分</th> <th style="width: 20%;">件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アウトドアガイド資格新規認定</td> <td style="text-align: center;">32件</td> </tr> <tr> <td>アウトドアガイド資格更新認定</td> <td style="text-align: center;">94件</td> </tr> <tr> <td>アウトドアガイド検定合格認定</td> <td style="text-align: center;">12件</td> </tr> <tr> <td>アウトドア講習修了認定</td> <td style="text-align: center;">66件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 試験等実施状況の確認 ガイド資格：更新時講習1回 ・ 資格制度推進委員会の開催 1回 						区分	件数	アウトドアガイド資格新規認定	32件	アウトドアガイド資格更新認定	94件	アウトドアガイド検定合格認定	12件	アウトドア講習修了認定	66件
区分	件数														
アウトドアガイド資格新規認定	32件														
アウトドアガイド資格更新認定	94件														
アウトドアガイド検定合格認定	12件														
アウトドア講習修了認定	66件														
担当課	観光局	30年度予算額	391 千円	29年度予算額	468 千円										

25	○北海道スポーツツーリズム戦略的誘客促進事業																				
<p>【目的・概要】 訪日外国人観光客の旅行形態は、団体旅行からリピーターや個人旅行へと変化し、その趣向やニーズは多様化している。日本の他地域に比べ、本道に優位性のあるスポーツを核としたツーリズムの振興を図ることで、新たな本道の旅の魅力を創出し、安定的に来道客数を増加させる。</p> <p>【事業内容】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">テーマ</th> <th style="width: 15%;">対象国・地域</th> <th style="width: 35%;">事業内容</th> <th style="width: 35%;">考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スキー</td> <td>豪州 アメリカ イギリス</td> <td>○北海道スキーイベント開催 ○北海道スキーセミナー・商談会 ○旅行会・メディア招へい</td> <td>スキー人口が多いアメリカ、イギリスは、道内への観光客も増加傾向にある。今後、集中的に北海道を売り込むことで、より一層の増加が期待できる。また、豪州においては、ニセコに集中しているスキーヤーを道内各地へ分散させることで道内全体のスキー活性化につなげる。</td> </tr> <tr> <td>サイクリング</td> <td>台湾 シンガポール タイ</td> <td>○道内イベントパンフレット作成 ○現地サイクリング大会への出展 ○現地旅行会社と共同北海道サイクリングイベント ○旅行会・メディア招へい</td> <td>台湾等においては、サイクリングが人気であり、今後北海道を周遊するツアーを造成することにより、より一層の増加が期待できる。また、道内においても海外からのサイクリスト誘致を進める自治体が増加している。</td> </tr> <tr> <td>マラソン</td> <td>中国 台湾 香港</td> <td>○道内イベントパンフレット作成 ○現地マラソン大会・イベント出展 ○メディア招へい</td> <td>道内でも、市民参加型のマラソン大会が数多く開催されており、高い観光消費が見込まれる海外からの参加者の誘客を進める自治体が増加している。</td> </tr> </tbody> </table>						テーマ	対象国・地域	事業内容	考え方	スキー	豪州 アメリカ イギリス	○北海道スキーイベント開催 ○北海道スキーセミナー・商談会 ○旅行会・メディア招へい	スキー人口が多いアメリカ、イギリスは、道内への観光客も増加傾向にある。今後、集中的に北海道を売り込むことで、より一層の増加が期待できる。また、豪州においては、ニセコに集中しているスキーヤーを道内各地へ分散させることで道内全体のスキー活性化につなげる。	サイクリング	台湾 シンガポール タイ	○道内イベントパンフレット作成 ○現地サイクリング大会への出展 ○現地旅行会社と共同北海道サイクリングイベント ○旅行会・メディア招へい	台湾等においては、サイクリングが人気であり、今後北海道を周遊するツアーを造成することにより、より一層の増加が期待できる。また、道内においても海外からのサイクリスト誘致を進める自治体が増加している。	マラソン	中国 台湾 香港	○道内イベントパンフレット作成 ○現地マラソン大会・イベント出展 ○メディア招へい	道内でも、市民参加型のマラソン大会が数多く開催されており、高い観光消費が見込まれる海外からの参加者の誘客を進める自治体が増加している。
テーマ	対象国・地域	事業内容	考え方																		
スキー	豪州 アメリカ イギリス	○北海道スキーイベント開催 ○北海道スキーセミナー・商談会 ○旅行会・メディア招へい	スキー人口が多いアメリカ、イギリスは、道内への観光客も増加傾向にある。今後、集中的に北海道を売り込むことで、より一層の増加が期待できる。また、豪州においては、ニセコに集中しているスキーヤーを道内各地へ分散させることで道内全体のスキー活性化につなげる。																		
サイクリング	台湾 シンガポール タイ	○道内イベントパンフレット作成 ○現地サイクリング大会への出展 ○現地旅行会社と共同北海道サイクリングイベント ○旅行会・メディア招へい	台湾等においては、サイクリングが人気であり、今後北海道を周遊するツアーを造成することにより、より一層の増加が期待できる。また、道内においても海外からのサイクリスト誘致を進める自治体が増加している。																		
マラソン	中国 台湾 香港	○道内イベントパンフレット作成 ○現地マラソン大会・イベント出展 ○メディア招へい	道内でも、市民参加型のマラソン大会が数多く開催されており、高い観光消費が見込まれる海外からの参加者の誘客を進める自治体が増加している。																		
担当課	観光局	30年度予算額	43,793 千円	29年度予算額	43,822 千円																

平成30年度 スポーツ振興関連事業の概要（教育庁関連）

26	○学校スポーツ振興事業費				
目的：学校スポーツ活動の普及促進を図るため、運動部活動における各種大会等に参加するための教員引率旅費を措置するとともに、全道大会の開催費について補助を行う。					
事業概要等 （単位：千円）					
	区 分	事 業 内 容	予算額	H29実績	
全国大会	生徒引率旅費	中体連 高体連 (総合体育大会) 高体連 (選抜等大会) 定体連 全盲体連	39,736 24,308	304名 231名	九州 南東北
			7,776	114名	
			2,208	27名	関東
			706	5名	北海道
地区大会	生徒引率旅費	中体連 高体連	10,964		
全道大会	開催費	中体連 高体連 定体連	470 582 100	夏季 15種目 冬季 2種目 夏季 31種目 冬季 2種目 6/10~7/7 7種目	札幌市外 札幌市外 札幌市外 釧路市外 札幌市外
担当課	健康・体育課	30年度予算額	86,850千円	29年度予算	82,984千円

27	○学校体育・運動部活動推進事業費				
目的：中学校の武道必修化を踏まえ、安全かつ効果的な授業の充実を図るため、外部指導者の派遣等を行う。					
事業概要等					
	区 分	目 的	事 業 内 容	H29実績	
	武道等指導推進事業 ～国委託事業	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度から武道及びダンスが必修となったことから安全管理、指導体制の充実を図る ・中学校における武道等の授業を安全に行うために、外部指導者等を派遣し、安全で効果的な授業の充実を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・武道・ダンス振興協議会及び武道講習会の実施 ・町道場等から学校への外部指導者派遣 ・体育教員の資質向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・武道ダンス・振興協議会の開催（2回開催） ・武道ダンス講習会 柔道3会場、剣道1会場、ダンス2会場 ・地域の指導者の派遣 柔道等82校延べ143人 	
担当課	健康・体育課	30年度予算	10,759千円	29年度予算	19,971千円

28	○学校・家庭・地域の連携協力推進事業（放課後子供教室推進事業費補助金）				
目的：放課後や週末等に全ての子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域住民の参画を得て、学習や体験活動の機会を提供することにより、子どもたちの豊かな人間性を涵養するとともに、地域社会全体の教育力の向上を図り、子どもが安心して暮らせる環境づくりを推進する。					
事業概要等					
実施主体	項 目	事 業 内 容 等	補助率	H29実績	
市町村	子供教室の実施	全ての子どもを対象に活動拠点を提供	国1/3以内 道1/3以内 市町村1/3以上	実施市町村・教室数（政令都市、中核市除く） ・68市町村 ・150教室 ・小学校182校 ・中学校18校	
	子供教室の備品整備	開設備品(カーペット、テレビ、机等)の整備			
	コーディネーターの配置	学校、保護者、その他関係機関との調整(児童クラブとの調整)			
	運営委員会の実施	事業計画、安全管理方策、実施後の検証・評価等(児童クラブ含む)(構成員:行政、教職員、児童クラブ関係者、PTA、地域住民等)			
北海道	推進委員会の開催	放課後対策の総合的な在り方等を検討(構成員:道教委、保福部、教職員、学識経験者等)	国 1/3 道 2/3	年3回開催 道内7会場、11回開催、参加者898名	
	指導者研修の実施	コーディネーター等への研修の実施			
担当課	義務教育課	30年度予算額	73,784千円	29年度予算額	79,274千円

29	○子どもの体力向上ボトムアップ事業費				
目的：学校・家庭・地域・行政が一体となって、本道児童生徒の状況について共通理解のもと、子どもたちの運動習慣の定着を図るとともに、体力向上に取り組む環境づくりを推進する。					
事業概要等					
	区分	目的	事業内容	H29実績	
	実践研究検討会議	・児童生徒の体力等の状況及び改善に向けた取組や支援体制等の推進	・会議を2つの部会で構成 運動習慣形成部会：運動習慣の定着に向けた方策などの検討 授業改善部会：授業の充実に向けた方策などの検討 ・大学、プロスポーツ団体、体協、実践研究校等で組織	年2回開催	
	運動習慣形成プロジェクト事業 (H30新規)	・運動に対する意欲向上に向けた学校の取組の改善・充実、運動習慣形成の促進	・運動やスポーツの魅力等を実感する児童生徒等向け講演の実施 ・児童生徒の企画による取組の実施 ・長期休業中における運動目標の設定など学校の教育活動外の取組の実施 ・普及・啓発資料の作成・配付		
	授業改善プロジェクト事業	・体育授業の改善に向けた実践研究や授業改善に資する指導資料の作成	・体育授業の充実に向けた教員向け指導資料の作成、配布 ・実践研究校における実践の成果の検証及び改善充実 ・大学教授等による実技指導や単元計画等に関する指導助言	小学校8校 中学校2校 高等学校4校 指導資料 2,700部作成 ・配布	
担当課	健康・体育課	30年度予算	10,144千円	29年度予算	13,653千円

30	○学校体育授業改善講習会費						
目的：学校における体育の実技内容について実践的な研修を行い、指導力の充実と向上を図るとともに、本道の子どもの体力を全国平均以上に高めるため、体力向上の要となる体育授業の充実を図る。							
事業概要等							
	区分	対象	期間	会場	講座の設定	講座内容	参加人数
	授業等改善講習会	教諭 (小・中・高・特)	2日	1管内	実技・座学講座 など8講座	体づくり運動 陸上 球技 保健等	各管内8名程度 (14管内×8)
担当課	健康・体育課	30年度予算	4,530千円	29年度予算			3,992千円

34	○教育指導費(学校教育調査研究事業費)オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業				(2定補正)
目的：2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、国際的な視野や共生の視点を持って社会に貢献できる人材を育成するため、本道においてオリンピック・パラリンピック教育を推進する。					
事業概要等					
	区分	内容			
	道教委 (地域拠点)	○北海道オリンピック・パラリンピック教育推進会議の開催(年2回) ○関係団体との連携を担うコーディネーターの全国セミナーへの派遣 ○教員を対象とした研修会(地域ワークショップ)の開催(年1回) ○推進拠点校の取組を掲載した普及啓発資料の作成・配布			
	推進拠点校 (6校)	○オリパラそのものについての学習 ○オリパラを通じた学習(スポーツの価値、外国の文化・言語・伝統・課題等)			
	推進協力校	○推進拠点校との交流・協議を行い、実践研究の成果を共有			
担当課	健康・体育課	30年度予算	5,696千円	29年度予算	千円